

SDGs目標15「陸の豊かさも守ろう」実現に向けた 栃木県内の生物多様性調査と環境教育活動 令和5年度最終報告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



齋藤祐希, 葛西峻, 小柳優奈, 山崎晃太郎, 板垣波凧,
関亦洸希, 竹内玲歌, 高井渚, 水谷愛, 飯郷雅之
宇都宮大学農学部応用生命化学科生物有機化学研究室

本年度の活動

- a. 住民参加型生物多様性調査と環境教育活動
- b. 分子レベルの生物多様性調査
- c. 絶滅危惧種（サンショウウオ）調査研究プロジェクト
- d. オンライン活動
- e. 報告会

a. 住民参加型生物多様性調査と 環境教育活動

- 宇都宮市上田地区(上田環境サポート): 7/23
- ゲンジボタル調査: 栃木市(NPO法人自然史データバンクアニマnet)5/27, 30, 6/1, 4, 9
- ゲンジボタル独自調査: 那須烏山市 6/14, 21
- ヒメボタル独自調査: 7/1-2, 5, 12, 19
- 喜連川社会復帰促進センター一里山調査: 4/25, 6/21, 7/25
- 丹沢山系ニホンヤマビル調査: 8/12
- 灯火採集調査: 栃木市(NPO法人自然史データバンクアニマnet)8/19

上田地区生物多様性調査7/23

上田地区の地域住民の方々と住民参加型生物多様性調査を行い、生命の尊さと環境保全の重要性を伝えた。

地域の方からのコメント

- 育成会のみなさんが1年の行事に組み込んで計画している
- 来年度も同じ時期に実施したい
- 学生さんの評判が良かったので、来年も、再来年も、次の年も、毎年来て欲しい
- 親もこどもの期待している
- 近隣地域からの注目も集まってうらやましがられている
- 他の地域からの参加希望もある

喜連川社会復帰促進センター調査

- 福島大学, NPO法人アースウォッチジャパンなどと合同で, 喜連川社会復帰促進センターにおける活動を実践した
- 収容者向け教育プログラムを実施(安全管理の都合上教員のみが参加, 4/25, 7/25, 10/24, 12/26[参加者の発表会])
- 里山の環境教育資源探索と生物多様性調査を行った(6/21)

c. 絶滅危惧種(サンショウウオ) 調査研究プロジェクト

- 栃木県立佐野高等学校科学部, 栃木カエル探検隊との栃木県南部トウキョウサンショウウオ調査(4/9現地調査)
- 栃木県立小山高等学校理数科との奥日光ハコネサンショウウオ調査(6/10現地調査), 塩基配列解析による分子系統解析
- 山脇有尾類研究所: 発足記念式典参加(9/19), 共同研究打ち合わせ(12/8)
- 第4回高校生両生類サミット参加(11/3)

トウキョウサンショウウオ 調査研究プロジェクト

絶滅危惧種であるトウキョウサンショウウオの
保全活動に取り組む佐野高校科学部，栃木カ
エル探検隊の小中学生とともに生息状況を調
査した。

ハコネサンショウウオの分子系統解析

d. オンライン活動

- 令和5(2023)年度宇都宮大学公開講座「人間界を捉え返す生物学の知見～物と生き物、動植物と人物 2023」(教員担当)
- 第4回高校生両生類サミット参加(11/3)

e. 報告会

- 2023年12月に実施(宇都宮共和大学)
- 2024年2月に実施予定(宇都宮大学)

今後の目標

- 次世代を担うこどもたちとともに、生物多様性調査と環境教育活動を実施する
- 絶滅の危機に瀕するサンショウウオ類のミトコンドリアDNA塩基配列の分子系統解析を通じて、大学の研究室で学んでいる専門知識や研究技術を、生物多様性保全に取り組む高校生に提供し、環境教育と研究高度化に貢献する（佐野高校，小山高校，仙台城南高校，山脇学園）
- 研究成果をデータベースに登録するとともに、論文として出版する
- 他のプロジェクトの連携を進めたい

謝辞

- 上田環境サポートと子供会のみなさん
- NPO法人自然史データバンクアニマnet
- 日本両棲類研究所
- 栃木県立佐野高等学校科学部
- 栃木県立小山高等学校理数科
- 山脇学園
- 宇都宮共和国大学シティライフ学部
- 栃木県大学・地域連携プロジェクト支援事業